

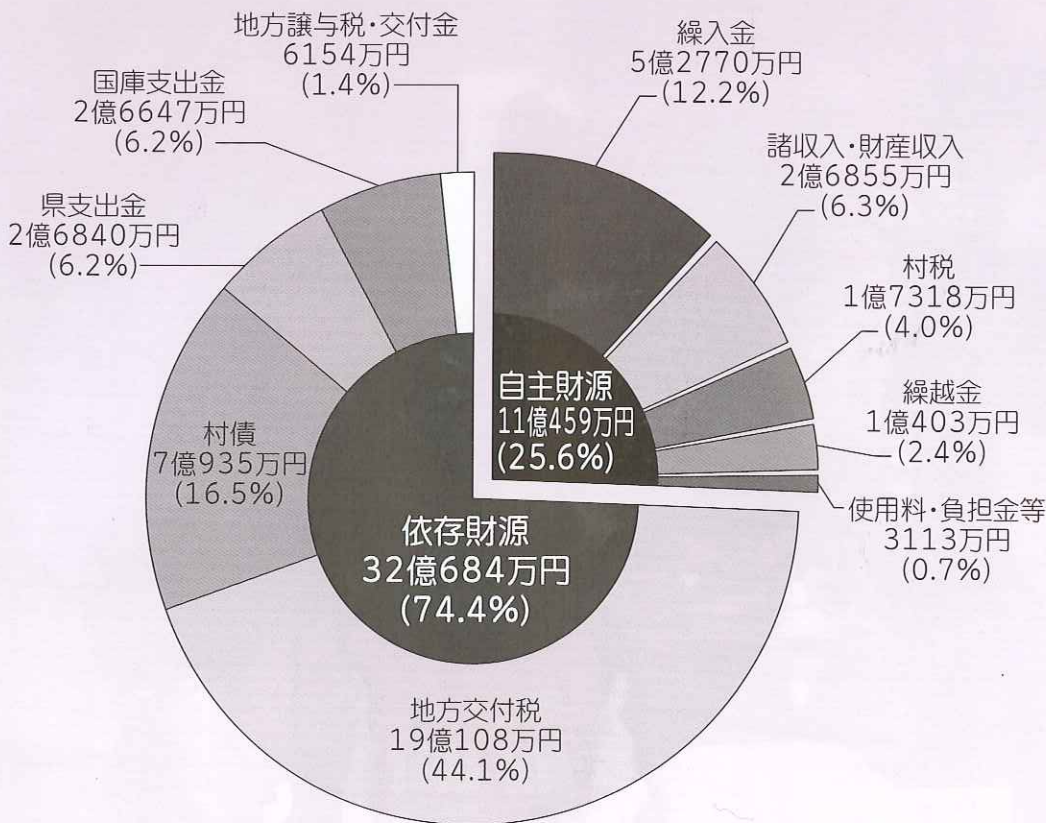


9/25 小学校 祖父母交流会

の決算を認定

決算議会 9月定例会議

一般会計歳入 43億1143万円



9月定例会議は、9日から17日までの9日間の会期で開催されました。平成26年度の一般会計・特別会計決算8件、報告3件、条例など3件、契約締結2件、補正予算8件の合計24件と陳情2件を採択とし、議員発議を含む意見など3件をすべて全会一致で原案のとおり、認定・可決しました。また、一般質問は3議員が登壇し、村政をただしました。

■各会計の決算額

会計名	歳入 (収入)	歳出 (支出)	差し引き	
一般会計	43億1143万円	41億2611万円	1億8532万円	
特別会計	国民健康保険 (事業勘定)	3億5735万円	3億5152万円	583万円
	国民健康保険 (直営診療施設勘定)	7659万円	7052万円	607万円
	後期高齢者医療	2417万円	2241万円	176万円
	介護保険 (保険事業勘定)	2億9901万円	2億9745万円	156万円
	介護保険 (介護サービス事業勘定)	3億1267万円	3億0127万円	1140万円
	簡易水道事業	4億3422万円	4億3302万円	120万円
	下水道事業	1億1870万円	1億1744万円	126万円
	小計	16億2271万円	15億9362万円	2908万円
合計	59億3413万円	57億1973万円	2億1440万円	

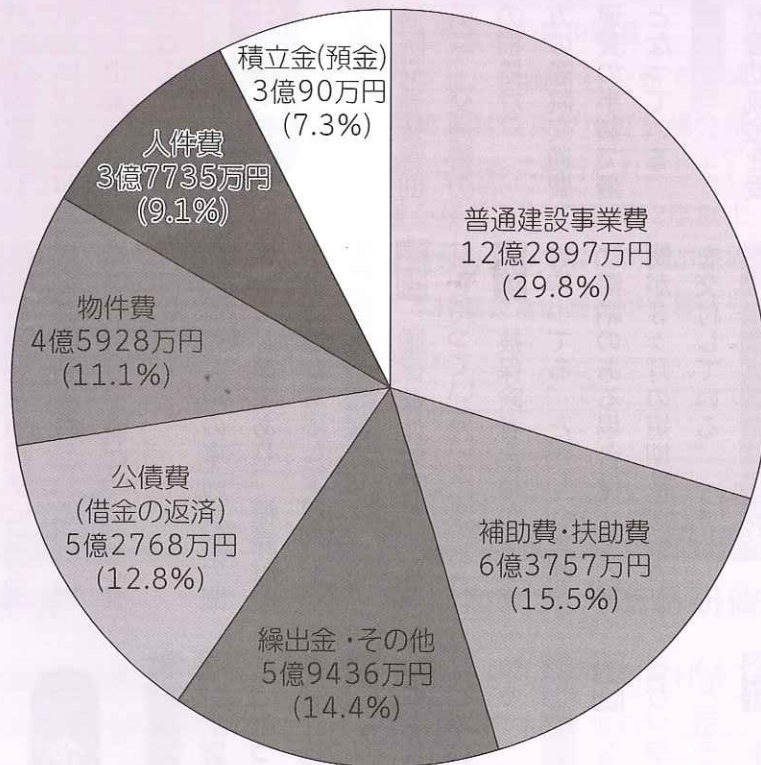
※金額は表示単位未満を四捨五入しているため、合計などが一致しない場合があります。

平成26年度決算の概要
一般会計の決算額は、歳入が43億1143万円、歳出が41億2611万円、差し引き1億8532万円の黒字となり、このうち翌年度に繰り越す財源5497万円を差し引いた実質収支も1億3035万円の黒字となりました。
主な事業は、畜産基盤整備事業やミニライセンサー、米利用施設建設事業など大型の建設事業がありました。

平成26年度 各会計

一般会計歳出 41億2611万円

性質別内訳



■財政の主要な指数

区分	H24	H25	H26
財政力指数	0.10%	0.10%	0.10%
経常収支比率	84.1%	83.9%	89.2%
公債費負担比率	17.8%	22.6%	18.7%

■財政健全化判断比率

区分	H24	H25	H26	基準値	
				早期健全化	財政再生
実質赤字比率	-	-	-	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	-	-	-	20.0%	40.0%
実質公債費比率	9.4%	8.3%	8.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	-	-	-	350.0%	350.0%

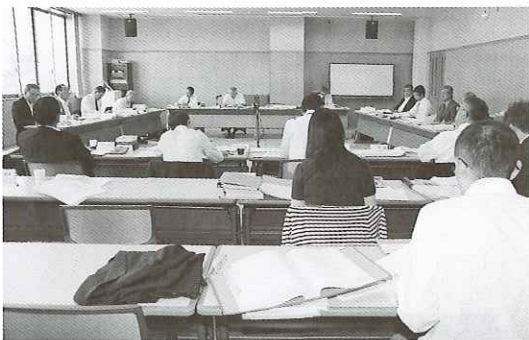
財政健全化の評価は？

財政健全化を判断するため、実質公債費比率・将来負担比率・実質赤字比率・連結実質赤字比率の4つの指標があり、これらの比率は少ないほど健全な状態にあると判断されます。

平成26年度における比率はいずれも良好な数値となっております。

26年度成果を審査

26年度決算の審査は、議長と議会選出監査委員を除く8名の議員で構成する決算特別委員会（委員長・佐藤正次郎）を設置し、9月14日と16日の2日間で審査を行いました。審査の結果、一般会計とすべての特別会計を「認定すべきもの」としました。



決算特別委員会

出しているのか、違う人なのか、どのような状況になっているか。

答弁 プライバシーの関係から公開はしていない。資産が無く差し押さえが出来ない結果、不納欠損になる。

民生課

通院費助成金の根拠は

質問 障害者通院交通費等助成金の算定根拠は、交通費の2分の1などの根拠か。

答弁 透析の方の通院交通費助成で、バス運賃の半額で最高9千円までとなっている。

不妊治療の成果は

質問 不妊治療費助成金を受け治療を行った結果、妊娠した人はこれまで何件あるか。

答弁 昨年度から始めた一般不妊治療助成を申請した方で、

現在妊娠中の方がおり出産に向かっている。

消火栓の標識は

質問 簡易水道事業に併せ消火栓が設置されているが、標識について今後どのように考えているか。

答弁 火災時の車両規制の関係から必要であり、標識設置を消防署が対応している。

国保保険証のない人は

質問 国保被保険者で、保険証を持っていない人はいるか。

答弁 被保険者全員が保険証を持つてゐる。ただし、保険料に滞納のある場合は、有効期間が3ヶ月の短期被保険者証を交付している。

内視鏡の検査の状況は

質問 小西先生がおられたときに、内視鏡等を揃えた経緯があるが、内視鏡検査の受診件数はいくらか。

答弁 26年度は7回行い、胃が39人、腸が8人の受診になっている。

企画商工課

物産振興貸付金収入未済額は

質問 貸付金は何年で返すことになっているのか、未済額がなぜ発生したのか。

答弁 単年度で償還してもらうことになっている。早く償還していただくよう話をして

街灯のLED化事業は

質問 3年間の年次計画であるが、早めの実施した方が良

答弁 事業の財源、電源立地交付金を活用して進めることで、交付金額に合わせ3年間として

動きがみえない

質問 首都圏発信事業の地域おこし協力隊の動きが見えない。本人や村の目標がどうなっているか。

答弁 水戸に店舗を開設している。離島キッチンにかかる旅費、使用料及び賃借料や借地料などの支出となっている。

補助金算出方法は

質問 地域づくり活動推進事業補助金の実績額の算出方法は。

答弁 基本割10万円と世帯割5千円で算出した額を上限として、地区からの申請額を限度額以内で決定している。

蓄電設備の性能は

質問 公共施設に設置されている再生可能エネルギーの蓄電設備は、停電の場合どの程度の電力確保を想定したのか。

税務会計課

基金運用の預入先

質問 新しく証券会社に1億円入れているが、利率が良くて証券会社に入れているのか。

答弁 安全かつ有利なもので運用するため、利率の良い長期債を買い求めた。

不納欠損は同じ人か

質問 毎年同じ人が欠損金を

【答弁】 日中太陽光発電の電力を蓄電し、夜間使用するなど、半日程度となっている。必要最低限の電力を確保する事業となっている。

教育委員会

【保育園費の減少は】

【質問】 昨年度の決算額に対して少なくなっている理由は。

【答弁】 児童館職員分を保育園費に計上していたが、児童福祉総務費に移したため減少している。

【予算の流用が多いが】

【質問】 予算執行をみると流用が多いが、通年議会でもあり組み替えをやるべきではないか。

【答弁】 給湯器の故障や照明器具球切れ、トイレの故障など子ども達が使用するもので緊急を要するものであり、ご理解をいただきたい。

【方言収集事業の進捗は】

【質問】 進捗状況と何年くらいを目処に完結させるのか。

【答弁】 収集したものをもう一度地区の代表者から確認していただき冊子にする予定になっている。

農林課

【受入できる体制か】

【質問】 機構集積協力金交付事業で、委託したい場合に受け手の法人などが受け入れできる体制にあるのか。

【答弁】 委託したいという方がおれば、受け手となる法人と認定農業者の方々と進めることになる。

【管理する必要があるのでは】

【質問】 農村交流センター改修事業で購入した土地があるが、草が生えている状態であり住宅もあるので草を刈る等の管理をおこななければいけないのではないか。

【答弁】 雑草については外構工事の実施と同時に行う。

【交付額減少要因は】

【質問】 まるごととなるせ農産物生産支援事業の交付金額の減

少要因は。

【答弁】 国庫補助事業の対象になる作物は補助事業に回したためとなっている。

建設課

【村営住宅使用料の未納は】

【質問】 村営住宅の使用料の未納額が前年より倍になっているが、積極的に納めてもらう工夫はしているのか。

【答弁】 滞納整理を行い改善が図られた方もいますが、納入に応じていただけないのが実情である。厳格な態度で滞納整理に努めます。

【事業が見込まれるのか】

【質問】 成瀬ダム水源整備計画調査設計は、周辺を整備する事業が見込まれるというところか。

【答弁】 ダム事業の本格化により遅れが生じないよう進めている。整備メニューは県と協議中となっている。

【芝生の認識は】

【質問】 パークゴルフ場の芝に

ついてどう考えているのか。立地条件の同じようなゴルフ場など視察し参考にしてみたい。

【答弁】 標高も高く芝生が伸びない。専門業者の指導を受け整備を進めていきたい。また、視察を行い勉強する必要もあると考える。

総務課

【さわやかなるせ仙人の郷基金は】

【質問】 寄附金は何人で、一番多く寄附しているのはいくらか。

【答弁】 ふるさと納税は、67人で195万1千円、最高額は65万円となっている。

監査委員の決算審査意見



決算監査報告を行う吉田代表監査委員

【意見】

形式収支は全会計とも黒字となったが、本村を取り巻く財政環境は依然として厳しい状況にあることから、自主財源の確保に努めるとともに、限られた財源の効率的な配分と簡素で繊細な行政運営を目指し、職員が一丸となって、むらづくりに邁進していただきたい。

監査委員

吉田 正

佐々木 悦 男

【審査結果】

審査に付された一般会計及び特別会計の歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書の計数は、それぞれの関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

佐々木 健 夫 議員

ミニライスコセンター・食肉加工所が村の施設とは

村長 公の施設として国・県が認めている

質問 ミニライスコセンター、

米利用施設、食肉加工施設は、特定の農家・法人や企業が業務を行う施設であり、住民が利用する公（村）の施設には馴染まないと思われるが如何か。

村長 自治法の改正により、過疎債事業として国・県に申請した時点で、こういった施設について特別な指摘がなく、公の施設として認められて執行している。

第三セクターへの持出しで、村財政への影響は

質問 第三セクターへの事業や修繕費に対する持ち出し額が平成20年度から26年度までの7

年間で8億5000万円余り、1年平均では1億2000万円程になっている。この額は

1年間の村民税と固定資産税の額に匹敵する。将来の村の財政への影響をどのように捉えているか。

村長 常に私の財政運営の中で社長として、職員にはより厳しく独自に運営できるように配慮している。第三セクターは、雇用創出や地域経済への波及効果を有する施設であり、先般般資本金の減資等により、累積赤字の解消に着実に向かっている。大規模改修には、国・県の制度を活用し、その都度議会に提案をし、決定いただき進めていきたい。

財政計画より決算額があまりにも大きい

質問 平成15年度に作った財政計画の予算額に比べて、各年度の決算額が10数億円も多くなっている。計画との整合性もなくただのペーパーではない。現時点にあった予算規模に計画の見直しをするべきではないか。

村長 まちづくり計画時点での財政計画では、県から概ね15年間で3割の地方交付税が削減されると言われたが、現実には削減しなかったことなどで、当初の財政計画とは違ったものになっている。フランスからいくと財政計画とありて健全財政が保たれてい

ると思っている。基金残高もそれなりの額を維持し、財政指数上も悪化していないので、財政計画を見直す必要はないと考えている。

起債残高のうち、村が支払う元金はいくらか

質問 村の借金（起債）残高のうち、村が支払う元金は何れ位になるか。

村長 26年度末起債残高49億4967万円のうち、82・3%分、40億7601万円が地方交付税算入に見込まれるので、村が負担する元金は17・7%の8億7360万円となり、これに利子分を含めると村負担分は9億6190万円

になる見込みである。滝ノ沢上捨遺跡調査、積極的に進めてはどうか

質問 滝ノ沢上捨の遺跡は貴重で広大な遺跡の可能性があるので、積極的に事業を進めてはどうか。

教育長 上捨遺跡は堅穴住居や土坑墓、土器、石器などの遺物など多数出土され、住居や広場、貯蔵箇所などが発見された。国・県の補助事業はあるようですので、指定に向けて進めていきたい。

ひがしなるせ議会だより/平成27年10月号



佐々木 正利 議員

工事入札結果は早く公表すべき

村長 できるだけ速やかに公表するようにしている



質問 工事入札の結果を村のホームページで公表している

が、工事が開始されていても公表されない時期もある。村の動きを村民に周知させる意味でも、できるだけ早く公表すべきと思うが、公表の基準などあるか。又、ホームページの入札結果には公表日が記載されているが、どこで公表されているのか。

回答 ふる里館前木造防護柵について

ふる里館前伊達堰に設置されている危険防止用、木造の防護柵（ガードレールの役目）が、去年の春から補修されない状態となっている。役場職員も気づいていないのか、公共の建物前としては見た目も良くないし、危険と思うが、新規に交換するために補修しないのか。

回答 東成瀬村応援団に登録すると「東成瀬村応援団会員登録」が後日送付され、割引制度を受けられるようになっているが、2週間以上過ぎて届かないケースがある。基準などを決めて早く送付したほうが良いと思うが、早くできないか。

質問 東成瀬村応援団について

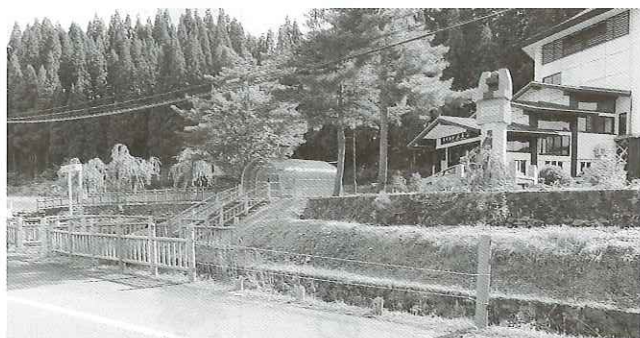
思う。やはり安全対策が一番大事だと思うので、至急対応するように具体的に進めてほしい。

回答 東成瀬村応援団の会員登録の送付が遅れた事実があったようです。

理由としては、出先で会員登録したものをFAXで役場に送ってきた際に、そのFAXが重なってしまったミスで、許されるわけではございません。

村長 公表の時期については、特に基準として定めていないが、執行後の物件に関わらず、できるだけ速やかにホームページに掲載するようにしている。公表日は、税務会計課の窓口とホームページで公表するようにしている。

村長 職員も気づいているところですが、冬期間の作業によって破損したりすると、何回やっても同じところを破損するので、何で対応したらいいのか迷っているところだと



破損したままになっている防護柵

村長 東成瀬村応援団の会員登録の送付が遅れた事実があったようです。

理由としては、出先で会員登録したものをFAXで役場に送ってきた際に、そのFAXが重なってしまったミスで、許されるわけではございません。

佐々木 修 議員

人口対策としての地方創生の構想は

村長 雇用、住環境、子育て中心に進める



質問 地方創生に関連して、村の人口が1980年に4011人。現在まで5年ごとに、人口が200人程度減少している。国立社会保障・人口問題研究所の推計では、今後とも同様に減少する予想で、深刻さを再確認した。

「消滅自治体リスト」「人口推計」等で、多くの人が人口減少問題を認識しており、東成瀬村は本気で人口減少に立ち向かうことを考えてもらう取り組みが重要。計画の中心である人の関わりについて、構想を伺う。

村長 一番大きな課題として取り組むべき、人口減少問題の質問であるが、人材の確保を含め、法人化を中心とした

雇用の創出が人口減少対策の重要なポイントで、6次産業対策も大きな視点と考える。合わせて住環境の整備が必要で、若者世代向けのアパート、結婚した場合の戸建住宅の整備。そして子供を育てやすい環境の施策の展開から、教育の充実までと、統一した方向に向かつて、行政運営していくことになる。人材の育成については、技術習得、研修に対する行政上の対応も求められてくると思う。村内に勤務の方で、家族での移住希望者もあり、系統的な対策が必要になってくると思っております。

「総合戦略」を持続する体制は

質問 国の概要に沿った「総合戦略」。2060年に1億人程度の人口を確保する、人口減少対策に特化した施策である。国の概要では数値目標を検証、改善が持続する体制だが、「総合戦略」を横断して取り組むべきことがあると考える。人の関わり、統一感を持った、「販売戦略」、「発信」が必要。特徴はあっても、国を上げて同じ方向の計画が策定中で、村を理解してもらうことが必須である。「総合戦略」を進めて行く為の、「戦略」が必要では。

村長 「総合戦略」は系統立

て進めて行く。地方創生計画は当面5年間だが、継続の方針も示されており、更に一歩踏み込んだもの、村だから出来る事業などを中心に考える必要がある。多方面の意見、また、村外からの声も取り入れ、地域にあった、特性を生かした戦略を立てる努力をしていく。

これまでの施策と違う点は

質問 これまでも、「過疎地域自立促進計画」、「総合計画」等で、課題が分析されている。住みよい村、人口減少にも対応すべく各事業を実現させている。しかし、全国と同様に人口減少に歯止めがかからないのが現状である。人口減少

は進み、財政も縮小する将来の対応を想定しておくことが求められている。今回の「総合戦略」はこれまでの施策と、どの様に違うのか。

村長 これまでも同じような課題を抱え、行政運営して来ているので、大きな違いはないが、国の制度が大きく変わっている事実がある。新規企業の立地環境が整って来ているし、農政の動きもあった。地方独自の施策が重視されており、国にアイデアを出し、より良い制度を活用していく。「総合戦略」は、当然計画からのずれは出てくる。その都度、長期、中期、短期の視点で実情にあった、計画を立てて実施していくのが「総合戦略」であると考えている。

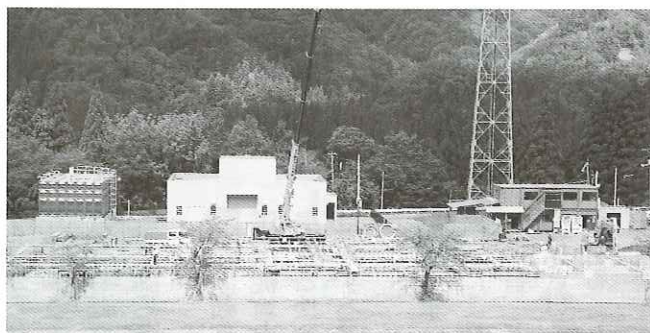
27年度一般会計補正予算(第4号)の主なもの

歳入	
○村税	
村民税の増	223万円
固定資産税の増	676万円
○地方交付税	
普通交付税の増	7693万円
○使用料及び手数料	
過年度分村営住宅使用料	33万円
○国庫支出金	
低所得者保険料軽減国庫負担金	29万円
地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金	1000万円
○県支出金	
低所得者保険料軽減県負担金	14万円
○諸収入	
奨学資金・物産振興資金貸付金の増	276万円
○雑入	
移転雑費補償金	17万円
歳出	
○総務費	
人事評価制度構築・導入支援業務委託料	248万円
奨学資金貸付金の減	▲744万円
地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業	1080万円
給食センター及び食肉加工センター整備費の追加	5035万円
○民生費	
自動交付機番号制度対応システム改修委託料	732万円
広域入所委託料の追加	294万円
○衛生費	
健康管理システム業務委託料	472万円
健康管理システム備品購入	512万円
○商工費	
観光施設修繕料の追加	100万円
○土木費	
村道調査設計業務委託料の追加	150万円
パークゴルフ場芝生補修工事費の追加	300万円
○教育費	
スクールバス運行委託料の追加	204万円
給食運搬車購入費	581万円

一般会計は9984万円を追加補正

総額は42億580万円に

地方創生事業の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業1080万円、給食センター及び食肉加工センター整備にかかる本工事費と備品購入費の追加5035万円やマイナンバー制度に伴い、住民票自動交付機のシステム改修費732万円や健康管理システムの構築費984万円など9984万円が補正予算に計上され、9月10日に開催された予算特別委員会で審議された。



給食センター及び食肉加工センター工事状況

契約

○東成瀬村食肉加工センター厨房備品購入
 契約額 4860万円
 相手方 北沢産業株式会社
 納入期限 平成28年2月15日

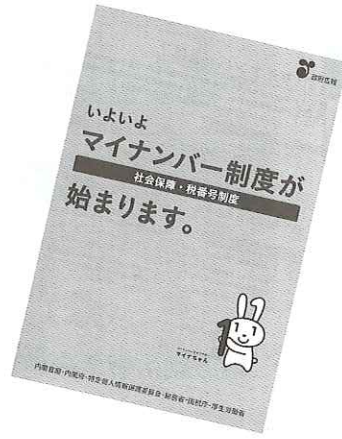
○東成瀬村食肉加工センターF4冷凍機購入
 契約額 2808万円
 相手方 株式会社フードワークス
 納入期限 平成28年2月15日

主な質疑

9月定例会議最終日となった17日に議案に対する質疑が行われました。

条例などの主な内容と質疑を要約してお伝えします。

マイナンバー制度施行に伴い村個人情報保護条例などを改正



に伴い、村が保有する特定個人情報の管理について、法の施行によって必要となる改正を行った。

○マイナンバー通知カード・個人番号カードの再発行時の手数料を定める改正を行った。

- 東成瀬村個人情報保護条例の一部を改正する条例
- 東成瀬村手数料条例の一部を改正する条例

○行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（マイナンバー法）の施行

答弁 セキュリティ問題に多額の経費がかかる。各地公共団体からもその財源が保証されるのかなど様々な問題が出ている。共同電算化に伴ったもの、単独で設置している自動交付機にかかるもの、カードを交付するための経費など必要な財源は補正する必要があると考える。

○東成瀬村新型コロナウイルス等対策行動計画の策定について

○新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づき、村の対策行動計画を策定したものです。

新型コロナウイルス等が発生した場合に、感染拡大を抑え、流行のピークを遅らせ患者等を少なくすることで、医療体制の確保を図り村民生活及び村民経済に及ぼす影響を最小となるよう策定されたものです。

質問 新型コロナウイルスの場合、医療従事者や役場関係職員などの、患者と接触しなければならぬ方々に対する予防接種の時期はいつか。

答弁 予防接種の時期は、国からの指示により行うもので、最初に国家公務員、医療機関、それから地方自治体という流れで、指示を受け接種をすることになる。

○東成瀬村と秋田県との間の行政不服審査会の事務の委託について

○行政不服審査法で行政不服審査会の設置が義務付けられました。不服申し立ての内容の処理について、村単独での設置は困難であると判断し、秋田県が設置する審査会へ事務の委託を行うものです。

質問 行政不服審査会にかかるようなことが近隣市町村ではあまり聞くことがないが、村でこれまでそういう事態が発生したことがあるか。

答弁 記憶している限りではありません。今までは、不服を申し立てるための手続きが非常に複雑でしたが、行政手続き法の改正などもあり、簡単に不服を申し立てることが出来るようになった。今後、様々な行政処分があると思うが、村としては今後発生しないと予想される。

質疑白熱

9月定例会議2日目となった10日に予算特別委員会が開かれました。

主な質疑の内容を要約してお知らせします。

平成27年度
一般会計補正予算(第4号)

歳入

移転雑費補償金は

質問 雑入の移転雑費補償金は成瀬ダム関連のようだが内容はなにか。

答弁 成瀬ダム事業の管理用道路の分筆登記に伴うもので、原因者である国からの歳入となっている。

歳出

耐用年数は

質問 ゆるるんの浄化槽プロフ修繕の件で、プロフの耐用年数は何年か、大きい施設で今後予定されているものは何箇所か。

答弁 耐用年数は、一般的に7年から10年である。一般家庭用以外の大型浄化槽は25基あり、計画的に修繕をかけていくことになる。

築年数が経っていない

質問 谷地天江の会館は築年数が経っていないと思うが、完成後の手直しや、かかり増しを少

なくする必要があるので。

答弁 要望事項は屋根の塗装であったが、冬の状況から雪切りを付けて今後の補修や改修に費用がかからない対策とした。

見積もりが甘くなかったか

質問 給食センター及び食肉加工施設整備事業の工事費追加補正が1億円を超えてきている。当初予算のときになぜ明示できなかったか。

答弁 給食センターについては実施設計に入っていたが、食肉加工施設の部分については基本設計の段階で予算をお願いしたため、こういった対応になった。

イベント開催助成金は

質問 赤べこ祭り、首都圏イベント等となっているが内容は。

答弁 首都圏イベントとして、水戸駅に離島キッチン、村のブースの展開費となっている。赤べこ祭りは10月11日で計画している。その他、販売促進・普及など3回ほど予定している。

何を売り込むのか

質問 特産品売り込みパッケージ等作成委託料は、何を売り込むのか、箱など具体的な内容は。

答弁 平良カブ、短角赤べこ関係とトマトで、パッケージを新たに作る。箱詰め或るいは段ボールなど1万単位で製作したと考えている。

人事評価をする前提か

質問 人事評価制度構築・導入支援業務委託はシステムを作りその後は人事評価をする前提でいるのか。

答弁 役場の環境にあったものを作り上げるためのシステムを構築して、最終的には評価を行いたいと考えている。

観光施設の修繕は

質問 観光施設の修繕料追加の内容は。

答弁 須川湖キャンプ場の炊事場の屋根から雨漏りがあるため早急に修繕するものである。

訓練・講習会は

質問 消防団員の危険予知訓練とはどのような訓練か。また、支部小型ポンプ講習会はこれから行われるのか。

答弁 消防団員の公務災害を防止するために、災害現場での危険を予知する訓練となっている。小型ポンプ講習会は10月18日に

行われる。

設計委託はどこか

質問 田子内の旧国道のどこを設計委託するのか。

答弁 小貫パーマさん横の橋りよの調査を考えている。

購入費用は

質問 給食運搬車購入費570万円は、どのような車か、装備を含めた全ての費用と解釈してよいか。

答弁 1.5t車の車両本体と給食運搬用のオプション分を合わせたものとなっている。



予算特別委員会

9月定例会議議決事項名

平成26年度東成瀬村継続費精算報告書	平成27年度簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
平成26年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	平成27年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）
東成瀬村新型インフルエンザ等対策行動計画の策定について	平成26年度一般会計歳入歳出決算認定
東成瀬村個人情報保護条例の一部を改正する条例	平成26年度国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算認定
東成瀬村手数料条例の一部を改正する条例	平成26年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）歳入歳出決算認定
東成瀬村と秋田県との間の行政不服審査会の事務の委託について	平成26年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
平成27年度一般会計補正予算（第4号）	平成26年度介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算認定
平成27年度国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	平成26年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）歳入歳出決算認定
平成27年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）補正予算（第1号）	平成26年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定
平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	平成26年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
平成27年度介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第1号）	物品供給売買契約の締結
平成27年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第1号）	物品供給売買契約の締結

請願・陳情

9月定例会議で3件の陳情が提出され、所管する常任委員会に付託し、審査の結果、2件を採択すべきものとし、要請に基づき、意見書を提出することに決定しました。

採択とした陳情

○第15回湯沢雄勝農業者大会における「農業経営の安定と食の安全に関する決議」の実現を国に要望する陳情

（陳情者）第15回湯沢雄勝農業者大会大会会長 羽後町農業委員会
会長 小野 浩二 外1名

○所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出についての陳情

（陳情者）秋田県商工団体連合会
婦人部協議会会長 小玉 智子

不採択とした陳情

○マイナンバー制度の平成28年1月実施の延期と改正案の凍結を求める意見書の提出についての陳情

（陳情者）秋田県商工団体連合会
会長 小玉 正憲

7月臨時会議

7月22日に臨時会議が開かれ、契約案件3件、補正予算1件を全会一致で可決しました。

契約

○東成瀬村学校給食センター及び食肉加工センター1建築工事

契約額 5億3838万円

相手方 伊藤建設工業株式会社

○ゲレンデ整備車（圧雪車）購入

契約額 3748万円

相手方 有限会社エンドウ

○東成瀬村学校給食センター1厨房機器備品購入

契約額 5119万円

相手方 山二環境機材株式会社

一般会計補正予算(第3号)の主な内容

○地方創生事業費	
デーパー訪問事業	325万円
商品券発行業務委託料	134万円
給食センター及び食肉加工センター本工事費の追加	6000万円
○農業振興費	
滝ノ沢ミニライスセンター乾燥機及び放冷タンク増設工事費	280万円

地域で守る地域医療

県南3カ町村議会議員研修会

7月27日、本村を会場に県南3カ町村議会（美郷町・羽後町・東成瀬村）で組織する連絡協議会の研修会が開催され、本議会10名を含む39名の議員が参加のもと講演会が行われました。

今年度は、雄勝中央病院院長としてご活躍しております中村正明氏の講演会で、突然襲った医師不足の危機など、医療現場の課題解決に向けた取り組みのお話しをお聴きしました。



住民に読まれ議会活動が伝わる議会報に

議会広報研修会

8月8日、秋田市で県内町村議会を対象とした議会広報の研修会（主催：県町村議会議長会）が開催され、本議会から5名の議員が参加しました。

研修会は、町村議会広報紙コンクールの審査委員となっている芳野正昭氏で、議会報の基本と編集技術を解説していただきました。



受賞後の富田議長

10月5日、全国町村会館で平成27年度市長村長及び市町村議会議長総務大臣表彰式が行われました。

村議会議長として通算12年以上在職し地方自治の発展に功績が認められ、本議会富田議長が表彰を受けました。

功績が認められる

市町村議会議長総務大臣表彰

地方創生に向けた町村議会の対応

町村議会議員研修会

8月8日、秋田市で県内町村議会議員を対象にした議員研修会（主催：県町村議会議長会）が開催され、本議会から全議員が参加しました。

研修会は、中央大学名誉教授の今村都南雄氏と政治ジャーナリストの泉 宏氏の2氏による講演会でした。



視察レポート

議会では7月6日から8日にかけて、常任委員会合同により先進地行政視察を実施した。総務教育民生常任委員会では「定住促進事業」を、産業建設常任委員会では「一次産業への取り組み」を主な調査事項として、その先進事例を学んだ。

奇跡の村・下條村

総務教育民生常任委員会

全国で少子化対策が課題となっている中、若者定住促進集合住宅を計画的に整備し、人口増加に導いた村の取り組みについて視察を行った。

長野県下條村

下條村は、明治22年に2つの村が合併して以降、126年間単独村として今日まで至っている村である。

村は長野県の最南端に位置し、中央道飯田インターから20分、三陸南進自動車道天龍インターからは6～7分の距離にある。

人口を増加させた取り組み

昭和25年の人口6,410人から平成2年には3,859人まで減少した。

過疎による人口減少に悩まされてきた村が取り組んだのは、若者が好むマンション風の集合住宅「若者定住促進集合住宅」の建設でした。

平成9年から平成18年度まで10棟、124戸の建設を行った結果、平成17年には4,204人に増加し、合計特殊出生率も上昇した。

補助金を使わない住宅建設

住宅建設の特徴は、補助金を使わない住宅の建設だった。

その理由は、入居の条件を村が独自に定めることができることにあり、村が求める入居者を選択することができる点にあった。

村では、入居条件を「子供がいる」か「結婚をする若者」に限定し、近隣市の半額程度の家賃で格安に提供していた。

また、入居する若者が地域に溶け込み村の行事への参加や消防団への加入などの条件により、質の高い若者が入居しているという。

子育て世代を村に呼ぶことで人口増加を狙った取り組みの実績を視察することができ大変参考になった研修となった。



マンション風の若者定住促進集合住宅

高原野菜供給産地・南牧村

産業建設常任委員会

高冷地という厳しい自然条件を逆手にとり、高原野菜の一大産地を形成し、長野県第2位の売上高を誇り、全国の食卓へ新鮮な野菜を供給している村の取り組みについて視察を行った。

高原野菜を中心とした農業王国

長野県南牧村は、長野県の東端に位置し八ヶ岳の裾野、野辺山高原の中にあり、標高850～1,500メートルと高く、農業を営むには厳しい自然条件である。

村の人口は約3,000人、世帯数が1,100世帯ほどの村ではあるが、基幹産業の農業生産額が135億円で、その内110億円を野菜が占める。主な野菜は、白菜・レタス・キャベツである。



JA長野八ヶ岳集荷施設

南牧村農業の底力

明治から昭和中期までは、他の農村と同じように稲作を中心とした農業生産を行っていたが、酸性のやせた土と過酷な条件から、適地適作に重点を置き、寒さに強く土壌にあった白菜・大根に目を付け高原野菜の栽培に移行していった。さらに土地の改良を目的に酪農を取り入れたり、分離化した耕地の集団化を図るなど、将来を見越した土地改良事業なども行った。

こうした先人たちの努力によって、高冷地と

いう悪条件を逆手にとり、不毛の土地と言われた八ヶ岳山麓を高原野菜の一大ブランド地に築きあげた村であった。

南牧村農業の現状と課題

農家数は376戸、農業人口は近年緩やかに減少しており、高齢化の進行がみられる。こうした中でも、農業後継者の確保は比較的順調に行われているのだが、配偶者の確保は難しく婚活支援などの対策が必要となっているのが現状だ。

経営耕地規模の拡大に伴い、出荷時の荷重な労働形態と人出不足が課題であり、農繁期の労働力確保としては、外国人農業実習生を中国やフィリピン等から300人程度を受け入れ対応している状況だ。

南牧村の農業が、そのまま本村に応用できるものではないが、今後の農業施策を進めるうえで参考になった研修でした。

「赤べこ」食材視察

食肉加工施設製品の供給先である㈱フードワークスが出店している、埼玉県越谷市のイオンレイクタウン内にある鉄板焼きのレストラン「花蝶」を視察しました。



幻の秋田短角牛ステーキ膳



企画商工課 高橋和典 民生課 菅 健 税務会計課 佐々木誠也

この人に聞きたい

かほ KahO の 突撃

いんたびゅう

今回は、村職員に採用されたフレッシュマンの3人にインタビューしてみました。

かほ ご出身と年齢は？
和典 羽後町で29歳です。
健 横手市で31歳です。
誠也 雄物川町で28歳です。

かほ 趣味などはありますか。
和典 趣味というほどではないのですが卓球です。
健 ん〜(悩)旅行かな。
誠也 自分も卓球です。

かほ 皆さん前職があると聞いていますが、どんなお仕事をしていましたか。
和典 作業用工具メーカーの設計開発をしていました。
健 塾の講師でした。
誠也 警察官をやっていました。

かほ 村職員になろうとしたきっかけは？
和典 県外(新潟)に居たので、地元に戻ってきたかった。
健 塾の仕事が夜だったので、昼の仕事がしたくて。
誠也 教育学部だったので東成瀬の教育に感心があつたから。

かほ 半年が経ちましたが、仕事の状況はどうですか。
和典 広報担当ですが、大分慣れてきました。特に大勢の人前で写真を撮ることも平気になりました。
健 ルーチンワークは慣れましたが、まだまだという感じ

誠也 今は契約関係の仕事が主ですが、今後、税務の確定申告事務などあるので心配です。

かほ 村の印象はどうですか。
和典 村民の方々同士や役場と住民との距離感が近い感じがします。
健 村民との繋がりが強い感じがします。
誠也 話がすぐ広まっちゃうので悪いことできないな〜(笑)

かほ 職場の雰囲気とかどうですか？
和典 公務員という堅苦しいイメージだったが、意外とアットホームです。
健 活気があつて楽しく過ごさせてもらってます。
誠也 前職では縛りが強く、厳しかったので、今は大分気持ち楽になりました。

かほ 最後に皆さんに一言！
和典 広報取材などで、また来たかと思わずに気軽に接して頂ければ幸いです。
健 窓口にいるので気軽に声を掛けてください。
誠也 皆さんお手やわらかにお願いします！

和典 中学校の卓球部のコーチをしています。卓球部に入ってください！
誠也 &

暫時休憩

さんじ きゆうけい

▼今年の秋は平年より早く来たような気がする。残暑厳しいということもあまりなかった。

▼小中学生が協力して種を蒔いたキバナコスモスが今年もオレンジ色鮮やかに咲いた。各集落にもその輪が広がり、実りの秋、田んぼの黄金色とマッチして美しい村を表現している。

▼少子高齢化の村にあつては、大切な子どもたちをこの花のように逞しく、明るく元気に育つよう、家庭から、村全体で見守って、大きな可能性を伸ばせる更なる環境作りをしなければならぬ。

村で計画し、議会で承認した各種事業には積極的に関わり、計画倒れにならないように、様々な面で努力してゆきたい。

▼もうすぐ冬、早めの準備で雪の被害に遭わないように、除雪の妨げにならないように地域で確認、協力し合い長い雪の中の生活を乗り切りましょう。

(委員・佐々木悦男)